



No. 4
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第2回

一般国道28号
すもと
洲本バイパス

【再評価】

平成30年9月
近畿地方整備局

目次

1. 事業全体図
2. 事業の概要
3. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 事業の投資効果
 - 4) 地域における計画等
4. 事業進捗の見込みの視点
5. 事業費の見直し
6. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
7. 関係自治体の意見
8. 対応方針(原案)

1. 事業全体図

一般国道28号 洲本バイパス

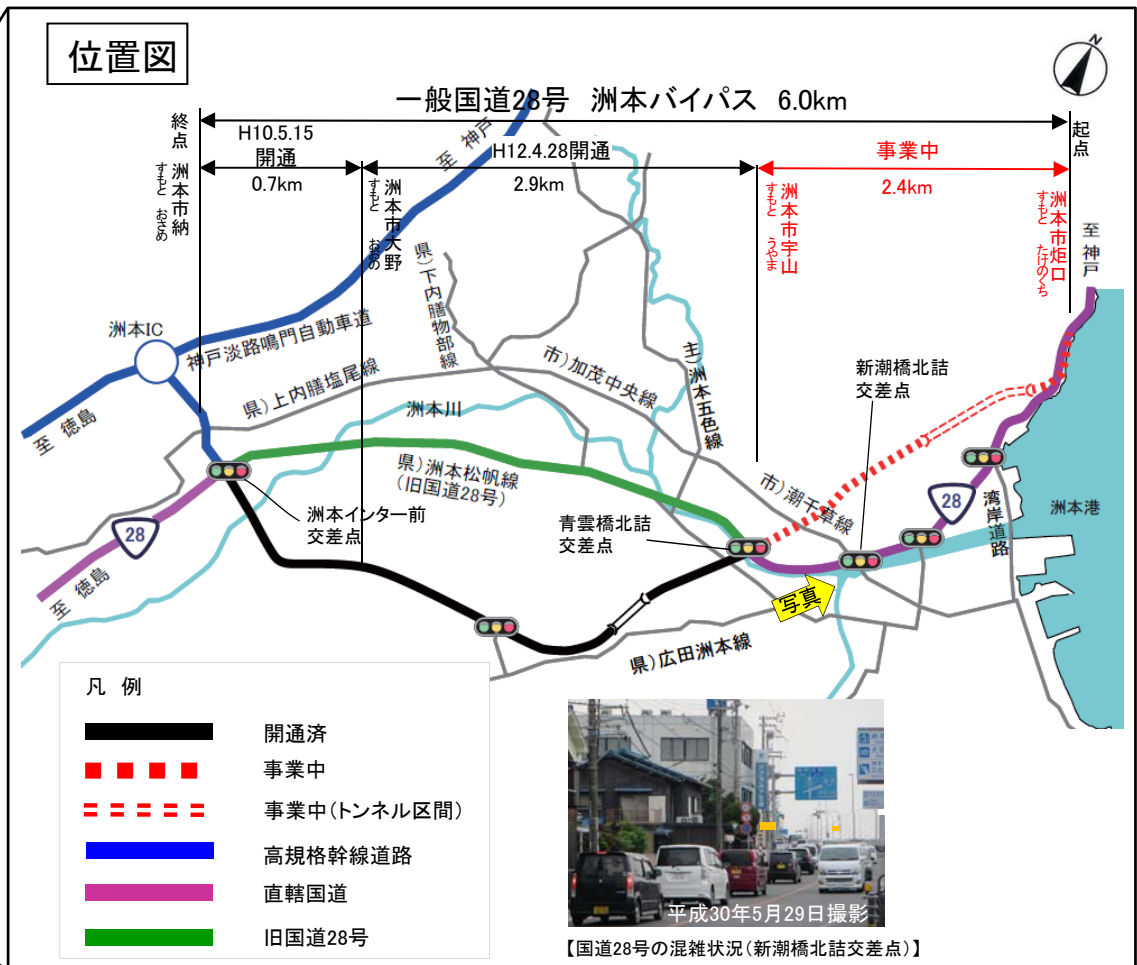
一般国道28号は、神戸市を起点として徳島市に至る約195kmの幹線道路で、淡路島内の経済、産業活動を支援するほか地域の生活道路として大きな役割を担っている。

洲本バイパスは、神戸淡路鳴門自動車道洲本ICへのアクセス道路としての役割を担うとともに、洲本市内の国道28号の交通混雑の緩和、交通安全の確保及び災害時の代替路の確保を目的とした延長6.0kmのバイパスである。

広域図



位置図



2. 事業の概要

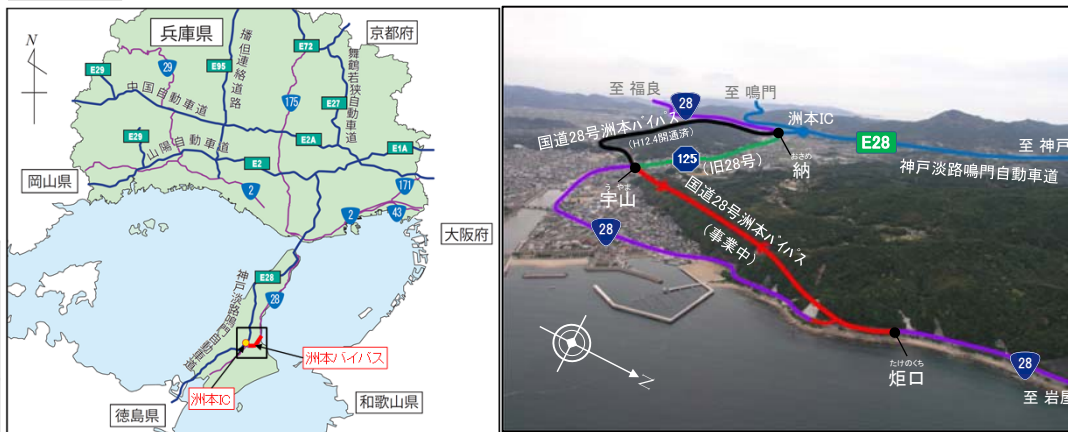
一般国道28号 洲本バイパス

- 交通混雑の緩和
- 交通安全の確保
- 災害時の代替路の確保

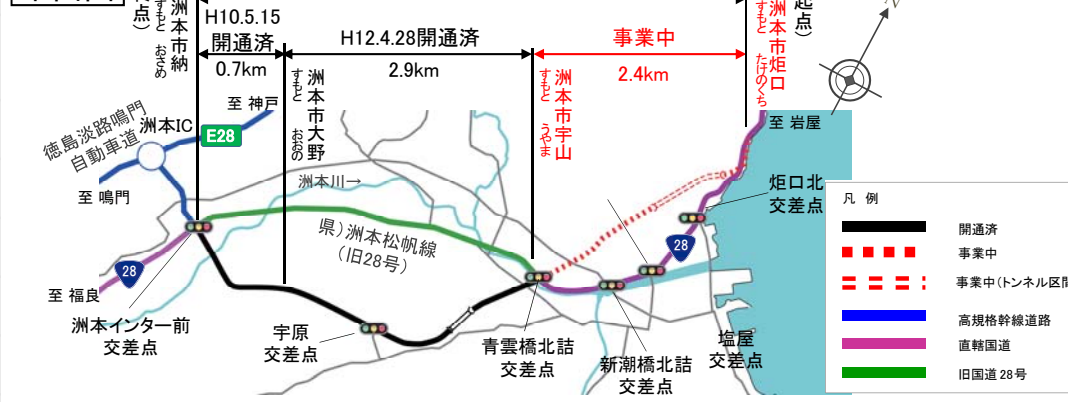
事業の概要・進捗状況

区間	(起) 兵庫県洲本市炬口 (終) 兵庫県洲本市納
道路延長	6.0km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	15.5m
計画交通量	11,300台/日
全体事業費	400億円
事業化	昭和60年度
都市計画決定	昭和57年度
用地着手	昭和63年度
工事着手	平成元年度
開通延長	3.6km(2車線)
事業進捗率	約83%(平成30年3月末現在)
用地進捗率	約95%(面積ベース、同上)

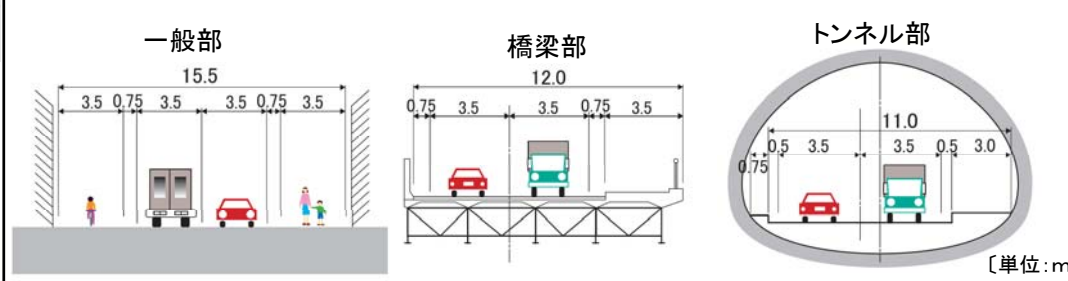
位置図



平面図



標準断面図



[単位:m]

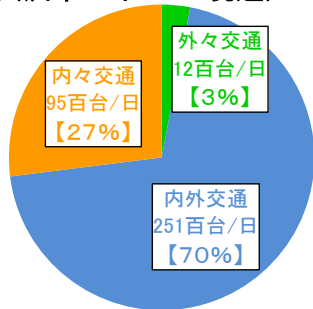
3. 事業の必要性に関する視点

一般国道28号 洲本バイパス

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 国道28号の交通特性は、内外交通70%、内々交通27%と割合が高く、地域の交通を支える道路
- 観光入込客数は年間約100万人前後で横ばい
- 淡路島全体や洲本市の人口は減少傾向、1世帯あたりの自動車保有台数は兵庫県平均の約1.6倍と自動車への依存が高い傾向にあるが、社会経済情勢等の大きな変化はない。

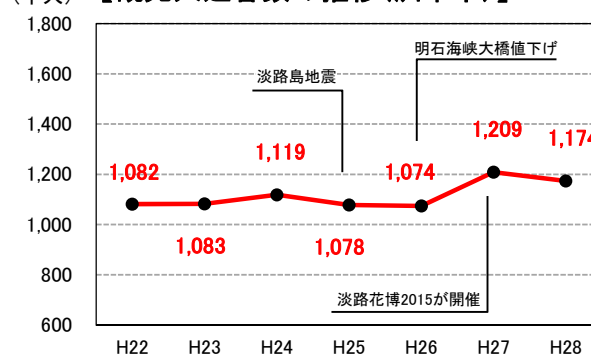
【国道28号(洲本バイパス・現道)のOD内訳】



内外交通: 周辺地域とその他の地域の交通
 内々交通: 周辺地域内の交通
 外々交通: 通過交通

※周辺地域とは、当該道路が通過する洲本市
 ※H22年全国道路・街路交通情勢調査の現況OD調査結果を基に算出

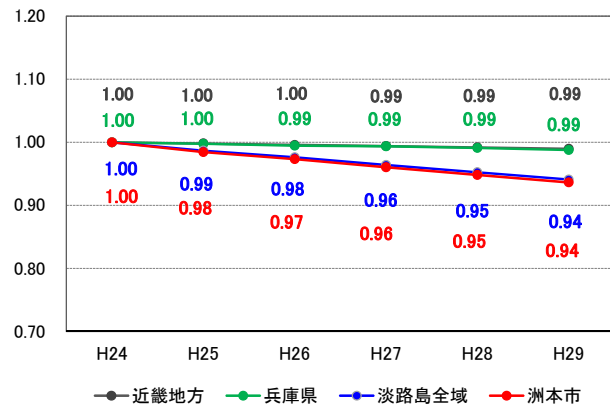
【観光入込客数の推移(洲本市)】



※H27年度の大幅な増加は、淡路花博のサブメイン会場として洲本市中心街エリアが選ばれ、洲本温泉をはじめとする近隣観光施設の利用が増えたことも要因と考える

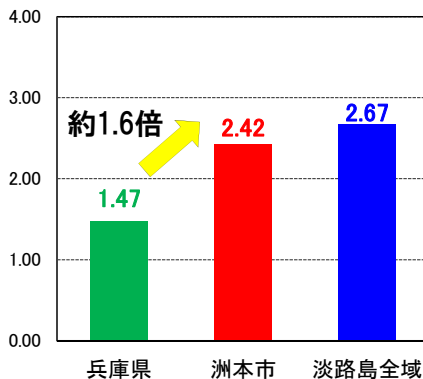
出典: H28年度 兵庫県観光客動態調査報告書

【人口の伸び】



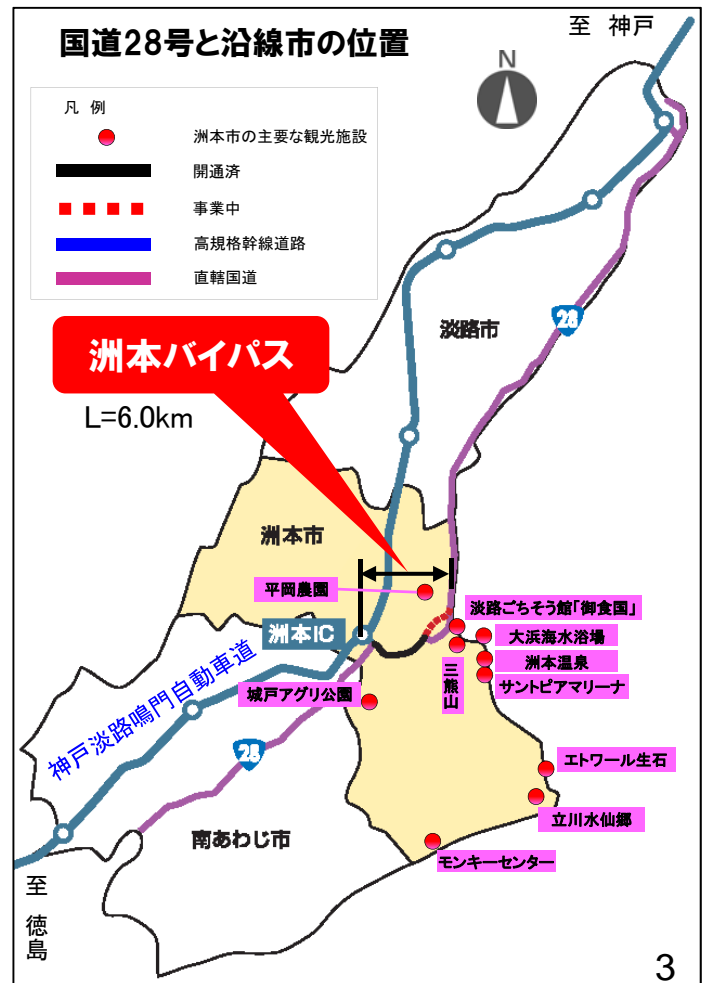
出典: H27年度 国勢調査、H29年度 兵庫県統計書

【1世帯あたりの自動車保有台数】



出典: H29年度 兵庫県統計書

国道28号と沿線市の位置



3. 事業の必要性に関する視点

一般国道28号 洲本バイパス

2) 事業の整備効果(交通混雑の緩和)

- 洲本バイパス未開通区間と並行する国道28号は、交通容量を超過し、交通混雑が発生
- 洲本バイパス開通済区間では、旧国道28号の交通量が約4割減少
- 残る区間の整備により交通の転換が図られ、交通混雑の緩和が期待される

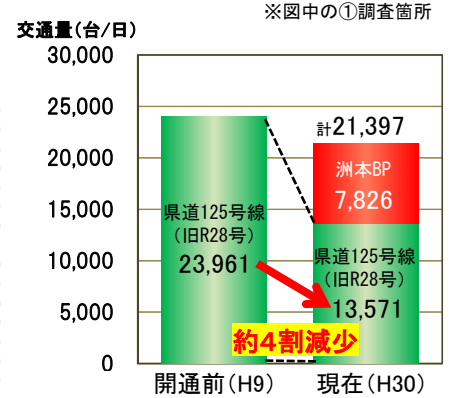


【未開通区間の渋滞状況】



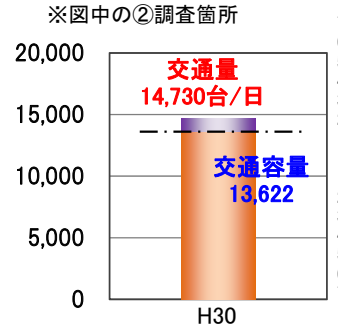
国道28号の混雑状況(新潮橋北詰交差点)

【開通済区間の交通量の推移】



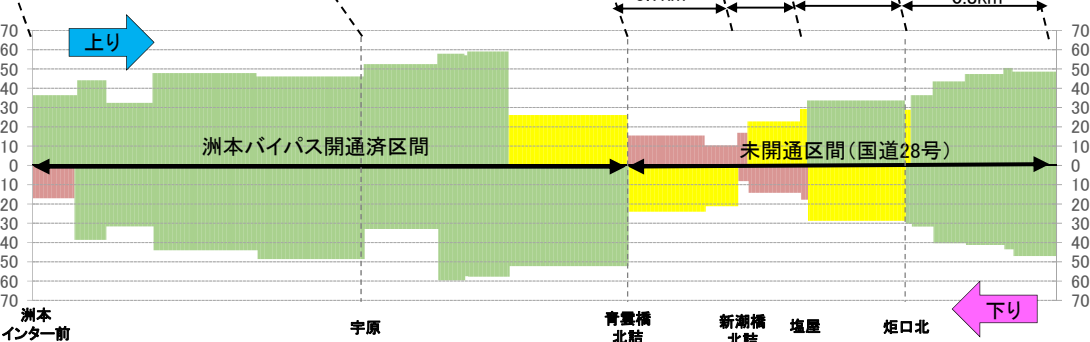
出典: H9は全国道路・街路交通情勢調査より H30は兵庫国道事務所調べ (H30. 5. 29)

【未開通区間の断面交通量と交通容量】



出典: 兵庫国道事務所調べ (H30. 5. 29)

【国道28号の混雑時における旅行速度】



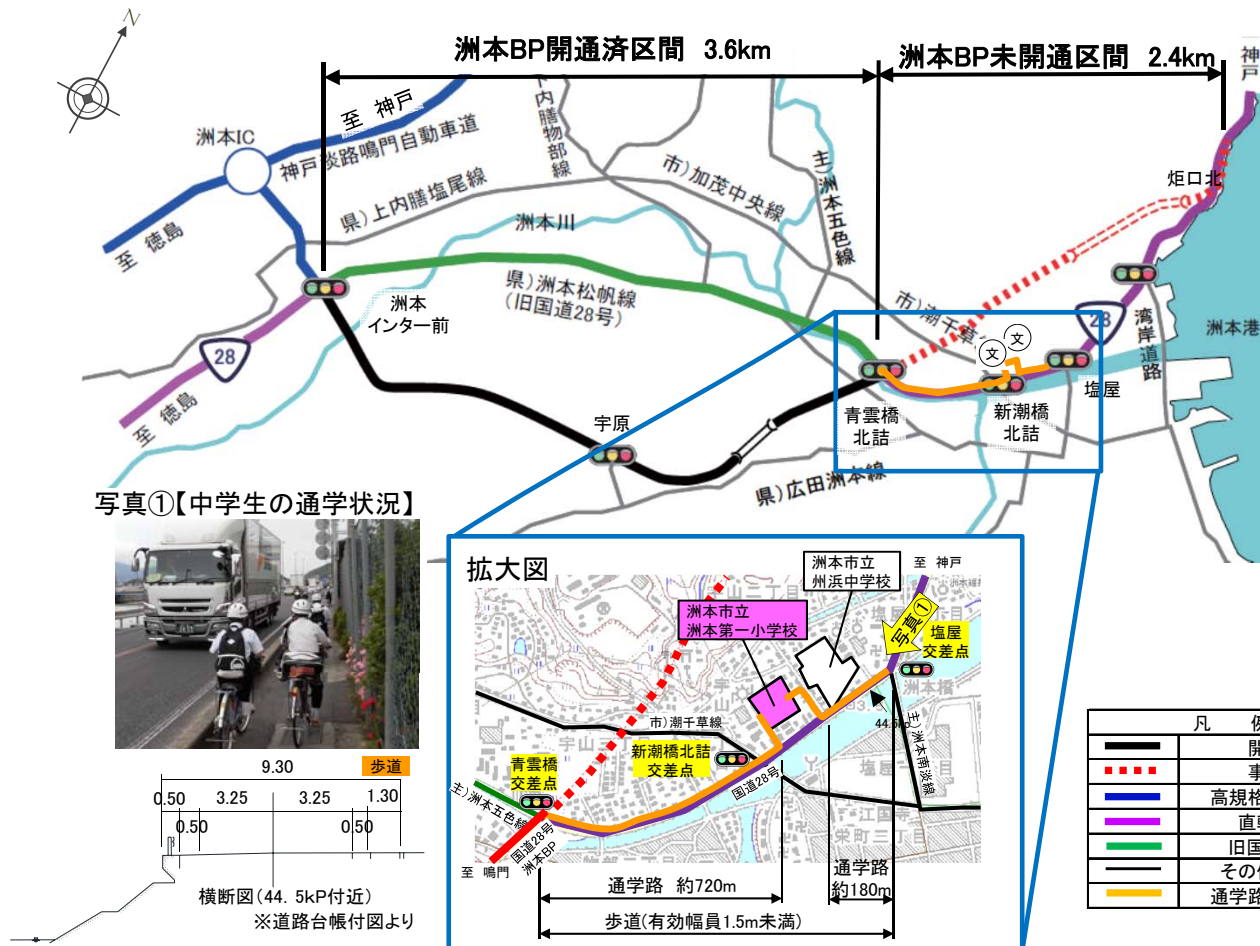
出典: ETC2.0プローブ情報 期間: 2018年3月の平日、時間帯: 7:00~18:00(12時間平均)

3. 事業の必要性に関する視点

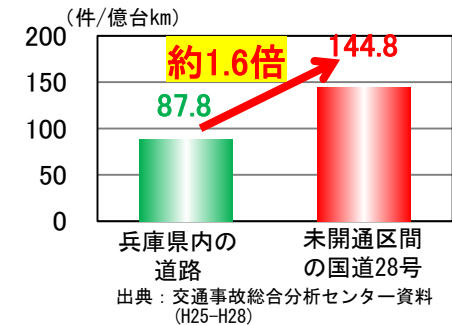
一般国道28号 洲本バイパス

2) 事業の整備効果(交通安全の確保)

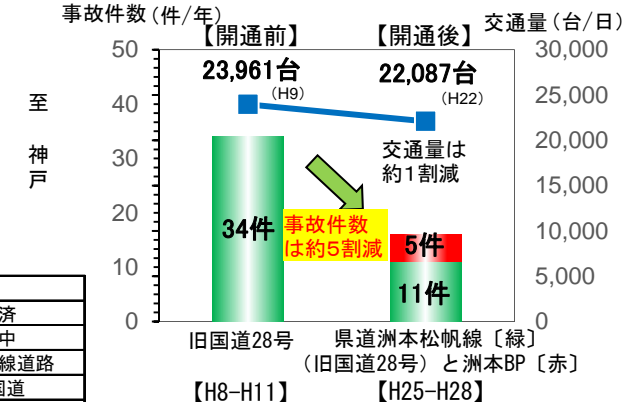
- 洲本バイパス未開通区間と並行する国道28号の死傷事故率は、兵庫県平均の約1.6倍
- 洲本バイパス未開通区間と並行する国道28号の歩道は狭く、通学路指定区間等において、歩行者・自転車の安全確保が課題
- 残る区間の整備により交通の転換が図られ、国道28号の安全性の向上が期待される



【未開通区間の死傷事故率】



【開通済区間の事故件数及び交通量の推移】



出典：交通事故総合分析センター資料 (H8-H11、H25-H28)
 県道洲本松帆線の事故数は兵庫県提供
 H9年度 全国道路・街路交通情勢調査
 H22年度 全国道路・街路交通情勢調査

3. 事業の必要性に関する視点

一般国道28号 洲本バイパス

2) 事業の整備効果(災害時の代替路の確保)

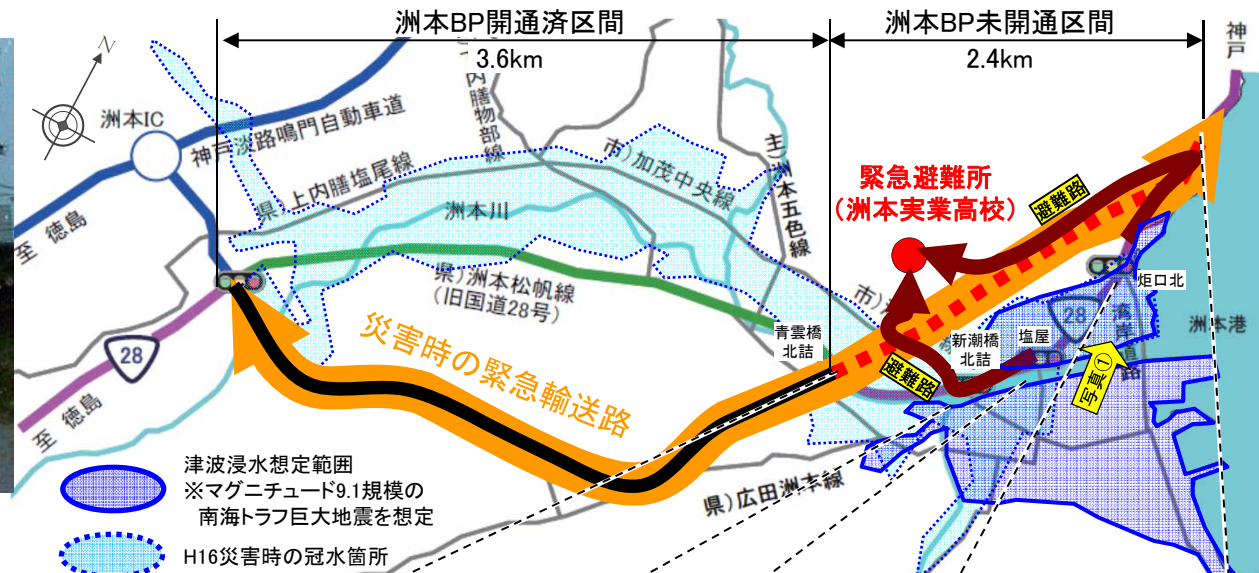
- 平成16年の台風23号では、旧国道28号及び国道28号が冠水し通行止めとなったが、開通済区間が現道の代替路として機能
- 未開通区間の国道28号の一部が、南海トラフ巨大地震時の津波浸水想定範囲に位置
- 洲本バイパスの計画高さは、想定津波高さよりも高く、災害時の避難路及び緊急輸送路として機能

【国道28号の冠水状況】



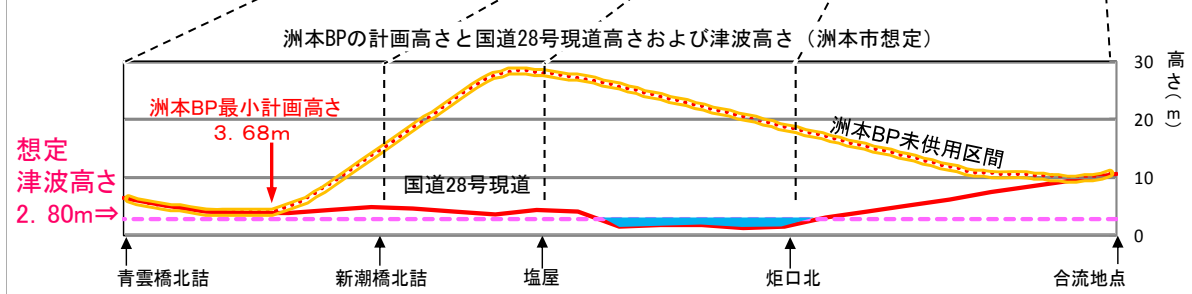
写真① (平成16年10月20日撮影)

【洲本市の標高と津波高さ(兵庫県想定)】



南海トラフ巨大地震による津波が発生した場合は、速やかに高台に避難する必要があります。
 洲本バイパスは、高台の避難場所に速やかに且つ安全に避難できるルートとして期待しています。
 洲本市役所防災担当者(H30.8)

- 凡例
- 開通済
 - 事業中
 - 高規格幹線道路
 - 直轄国道
 - 旧国道28号
 - ⇨ 災害時の緊急輸送路
 - ⇦ 避難路



出典: 洲本市津波ハザードマップ 平成25年12月24日公表 (兵庫県)

3. 事業の必要性に関する視点

一般国道28号 洲本バイパス

3) 事業の投資効果

■ 便益 (B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出

■ 費用 (C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出

■ 事業全体

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	660億円	51億円	3.8億円	715億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	663億円		22億円	685億円	

■ 算出条件等

基準年 : 平成30年度
 検討期間 : 50年間
 現在価値算出のための社会的割引率 : 4%
 交通量の推計時点 : 平成42年度
 推計に用いた資料 : 平成22年度 全国道路・街路交通情勢調査
 適用した費用便益分析マニュアル : 平成30年2月版
 事業費 : 400億円
 維持管理費 : 2.2百万円/km
 作成主体 : 近畿地方整備局

■ 残事業

便益 (B)	走行時間短縮便益	走行経費減少便益	交通事故減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	259億円	13億円	0.78億円	273億円	
費用 (C)	事業費		維持管理費	総費用	
	87億円		7.5億円	94億円	

※1 便益・費用については、現在価値化した値である

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある

※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

3. 事業の必要性に関する視点

一般国道28号 洲本バイパス

4) 地域における計画等

■ 地域における計画

洲本バイパスは、下記の計画に位置づけあり

- 新洲本市総合計画(平成30年5月)
- 兵庫県都市計画区域マスタープラン「洲本都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」
(平成28年3月)
- 洲本市都市計画マスタープラン(平成24年3月)
- 兵庫県交通安全実施計画(平成30年度)

■ 要望経緯

- 兵庫南東部国道連絡会(平成3年6月設立、会員:洲本市ほか19市町)
 - ・平成30年7月 「一般国道28号洲本バイパス整備」を要望
- 近畿国道協議会(平成3年12月設立、会員:洲本市ほか210市町村)
 - ・平成30年7月 「一般国道28号洲本バイパス整備」を要望
- 洲本市
 - ・平成30年1月 国土交通省に「一般国道28号洲本バイパス整備」を要望
 - ・平成30年2月 近畿地方整備局に「一般国道28号洲本バイパス整備」を要望

4. 事業進捗の見込みの視点

一般国道28号 洲本バイパス

1) 事業の進捗状況

平成30年度事業内容

- ・現在、用地買収、調査・設計、改良工事等を実施

進捗状況（平成30年3月末時点）

用地進捗率約95%（面積ベース）、事業進捗率約83%（事業費ベース）

【洲本市宇山～洲本市納 3.6km】用地進捗率 100%（面積ベース）、事業進捗率 100%（事業費ベース）

【洲本市炬口～洲本市宇山 2.4km】用地進捗率 約80%（面積ベース）、事業進捗率 約26%（事業費ベース）

事業進捗上の課題

- ・用地について難航案件の早期解決が必要

2) 今後の事業スケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指す



区間	開通済区間(洲本市宇山～洲本市納) 3.6km	洲本市炬口～洲本市宇山 2.4km
用地	用地進捗率 100%	用地進捗率 約80%
工事	H10.5.15 0.7km開通(2車線) H12.4.28 2.9km開通(2車線)	調査・設計推進 改良工事推進

凡 例	
	開通済
	事業中

※用地進捗率
平成30年3月末時点の面積ベース
(全体:約95%)

5. 事業費の見直し

一般国道28号 洲本バイパス

■ 全体事業費の見直し

地盤改良工の追加などにより約50.5億円の事業費増が生じたため、コスト縮減を図ったものの、事業費全体で約50.0億円の増額が発生(350億円⇒400億円(約14%増))

■ 事業費増加の要因

○用地取得に伴い、詳細設計段階においてボーリングを実施。新たに策定された技術基準に基づき地質を検証した結果、液状化層であり地震時に安定しないことが判明し、地盤改良工が必要となったことによる増加

○兵庫県が実施した埋蔵文化財分布調査により新たな包蔵地が確認され、埋蔵文化財調査範囲が拡大したことによる増加

■ コスト縮減の取組

○トンネル内円形水路の断面及び工法を見直し材料費及び施工費の縮減

(単位：億円)

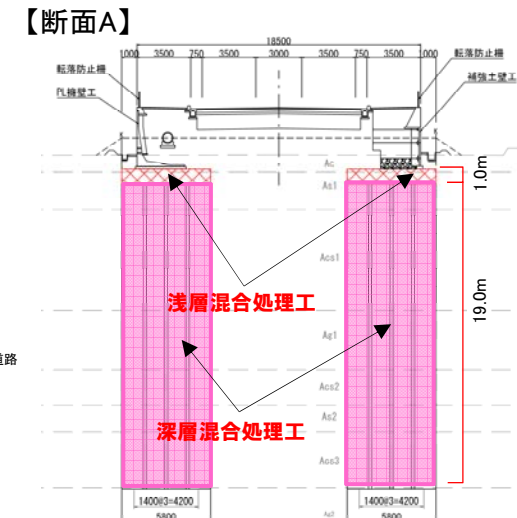
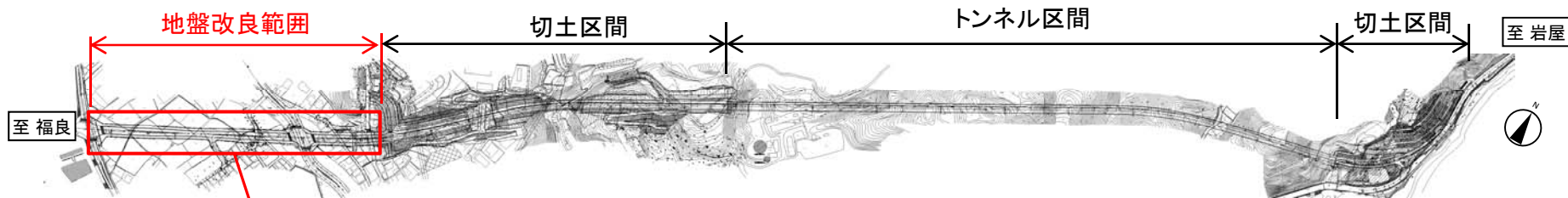
No.	主な増加理由		金額	備考
①	に地質条件の変更	地盤改良工の追加に伴う費用の増加	20.3	
②		トンネルの支保パターンの変更及び補助工法追加による費用の増加	20.0	
③		法面対策工の追加による費用の増加	8.7	
④	埋蔵文化財発掘調査の範囲拡大に伴う費用の増加		1.5	
⑤	トンネル内円形水路の断面及び工法を見直しによる材料費及び施工費の縮減		-0.5	
合計			50.0	

5. 事業費の見直し

一般国道28号 洲本バイパス

■盛土区間における地盤改良工の追加 (+20.3億円)

- 当初は文献調査、現地踏査により地質を想定
- 用地取得に伴い、詳細設計段階においてボーリングを実施。新たに策定された技術基準に基づき地質を検証した結果、液状化層であり地震時に安定しないことが判明し、地盤改良工が必要となった



【詳細設計】

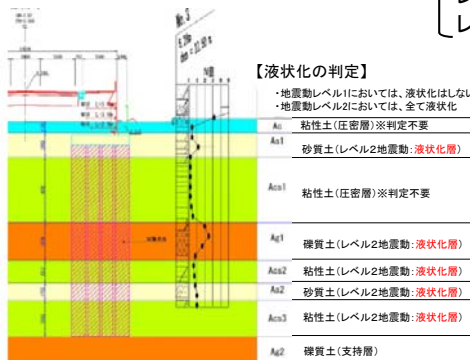
H27年3月「道路土工構造物技術基準」制定

- ・H27年3月以前は、土工部において5m以上の擁壁について地震時の検討必要(当該区間は擁壁高が5.0m以下:1.0m~4.5m)
- ・H27年3月の技術基準策定後は、構造物の重要度に応じて要求性能を選定

洲本BP: [重要度1] ※1 → 要求性能

- レベル1地震動に対して性能1
- レベル2地震動に対して性能2
- レベル2地震動に対し、液状化対策が必要

※1 重要度1: 各種高速道路、一般国道
都道府県道及び市町村道のうち特に重要な道路



【地震動のレベル】

- ・レベル1地震動: 供用期間中に発生する確率が高い地震動
- ・レベル2地震動: 供用期間中に発生する確率は低いが大強度をもつ地震動

【要求性能】

- ・性能1: 道路土工構造物が健全である、又は、道路土工構造物は損傷するが、当該道路土工構造物の存する区間の道路としての機能に支障を及ぼさない性能
- ・性能2: 道路土工構造物の損傷が限定的なものにとどまり、当該道路土工構造物の存する区間の道路の機能の一部に支障を及ぼすが、すみやかに回復できる性能
- ・性能3: 道路土工構造物の損傷が、当該道路土工構造物の存する区間の道路の機能に支障を及ぼすが、当該支障が致命的なものとならない性能

【地震時の構造物安定解析結果】

位置	レベル1	レベル2 (液状化時)	備考
断面A	1.238	0.294	安定対策工必要

浅層混合処理
安定処理バックホウ混合1.0m
深層混合処理
スラリー攪拌0.5t/m φ1.0m杭長20m ※13本/10m2

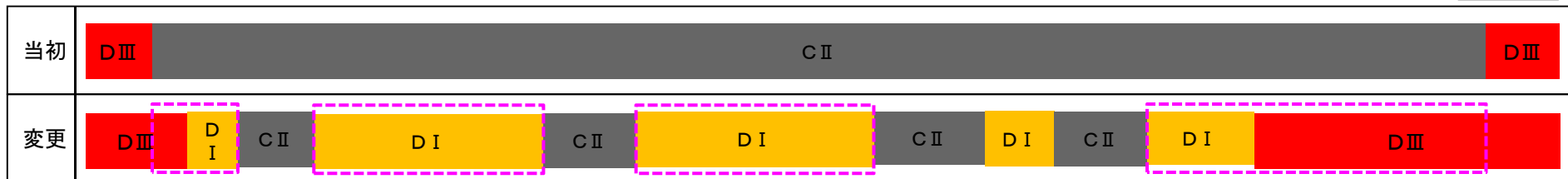
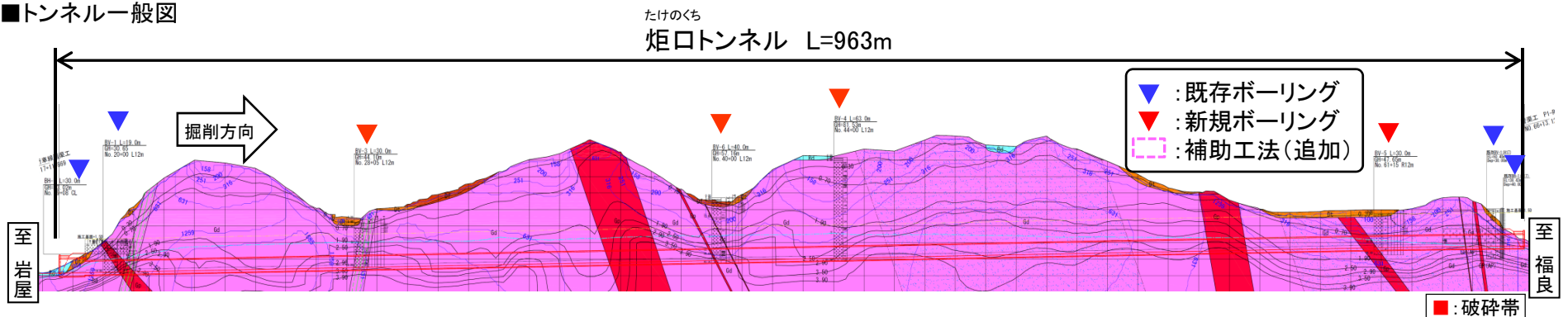
5. 事業費の見直し

一般国道28号 洲本バイパス

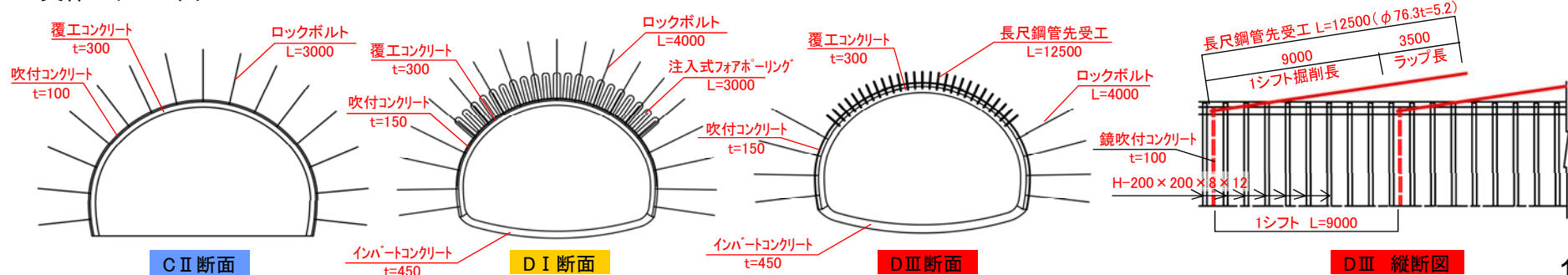
■トンネルの支保パターンの変更及び補助工法追加による費用の増加(+20.0億円)

- 当初は坑口部のボーリングおよび文献調査、現地踏査により地質を想定
- 詳細設計段階で実施した追加ボーリングによると、岩盤は随所で亀裂が褐色化し開口しており、また、ボーリング位置以外は弾性波探査の結果、地山の脆弱化が進んでいると考えられたため、支保パターンの変更及び補助工法を追加

■トンネル一般図

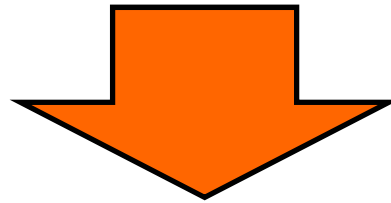


■支保パターン図 : 当初は坑口部以外については、C IIパターンを想定していたが、地質調査によりC IIからD Iへの変更及び、場所により補助工法の追加が必要となった



6. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

神戸市を起点として徳島市に至る幹線道路の一部を形成する一般国道28号洲本バイパスの計画は、交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替路の確保を勘案し選定された合理的な計画であり、周辺環境や景観の保全を図っています。



今後も、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら、引き続き事業を推進していきます。

7. 関係自治体の意見

一般国道28号 洲本バイパス

○兵庫県知事

平成30年9月4日 土第1391号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会について(回答)

一般国道28号は、淡路島を南北に通過し、高速道路のICや淡路3市の中心市街地をつなぐ幹線道路であり、その中でも洲本バイパスは洲本市域の日常生活や経済活動を支える重要な役割を担っている。

本バイパス6.0kmのうち、洲本ICと洲本市街地を直結する西側3.6kmは供用済みであるが、東側2.4kmが未供用となっている。

このため、未供用区間と並行する現国道では約15,000台/日の交通が集中し、青雲橋北詰交差点や新潮橋北詰交差点で交通混雑が発生していること、死傷事故が多発していることから、本バイパスの整備により、通過交通を排除し、交通混雑の緩和や交通の安全性向上を図る必要がある。

また、現国道の塩屋交差点～炬口北交差点間は、南海トラフ地震時の津波により浸水する可能性があることから、本バイパスの整備により緊急輸送路や避難路としての機能を確保する必要がある。

これらに加え、地元洲本市からも強い要望があることから、コスト縮減や事業効果の早期発現に配慮しつつ、引き続き事業の推進に取り組み、早期に供用して頂きたい。

◆沿線市町村の期待

■洲本市長

(期待する効果)

①安全で快適な生活のまちづくり

- ・洲本市の道路インフラ整備の要である洲本バイパスの整備により、通過交通の転換による現道の交通混雑の緩和や、整備に伴う洲本第一小学校及び洲浜中学校の通学路における、児童など歩行者の安全確保に期待。

②防災

- ・大規模地震による津波が発生した場合、高台の避難所に速やかに安全に避難できるルートとして期待。
- ・大規模災害発生後においても、災害時の緊急輸送路として確保され、迅速な救助や支援が受けられる。

③観光

- ・洲本ICと洲本市街のアクセス向上に伴う洲本温泉等観光地の観光客数の増加。

(取り組み)

①安全で快適な生活のまちづくり

- ・教育委員会、学校関係者、警察、道路管理者が一体となって、通学路交通安全点検を実施し、さらなる児童などの歩行者の安全確保の向上を図る。

②防災

- ・各集落(約1,126世帯)から国道28号洲本バイパスへのアクセスルートの点検・改良を推進。

③観光

- ・淡路島をめぐる広域観光ルートづくりや淡路島が一体となった広域的なPR活動を推進。

8. 対応方針(原案)

一般国道28号 洲本バイパス

1. 事業の必要性等に関する視点

- ・事業目的である交通混雑の緩和、交通安全の確保、災害時の代替え路の確保が必要な状況は変化していない。
- ・洲本バイパスの整備により交通容量が拡大し、交通混雑の緩和が期待される。
- ・洲本バイパスの整備により渋滞が緩和し、事故の減少及び安全な歩行空間の確保が期待される。
- ・洲本バイパスの整備により、災害時の避難路及び緊急輸送路としての活用が期待される。
- ・費用便益比(B/C)は、事業全体で1.04。残事業で2.9。

2. 事業進捗の見込みの視点

- ・洲本バイパスは昭和60年度に事業化し、全長6.0kmのうち3.6kmを開通し、現在工事を推進。
- ・洲本バイパスは昭和63年度に用地着手し、平成30年3月時点で約95%取得済み。
- ・洲本バイパスは引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。

洲本バイパスは、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続



No. 4
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成30年度第2回

一般国道28号

すもと
洲本バイパス

【再評価】

(計算結果等参考資料)

平成30年9月
近畿地方整備局

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	国道28号 洲本バイパス
事業主体	近畿地方整備局

事業採択の前提条件を確認するための指標

		指標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比 (B/C) = 1 (経済的純現在価値 (B-C) = 25億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 4.1%) 残事業：費用便益比 (B/C) = 2.9 (経済的純現在価値 (B-C) = 178億円、経済的内部収益率 (EIRR) = 13.5%)

事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは を に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑な モビリティの 確保	現道等の年間渋滞損失時間及び削減率		区間a (費用便益分析対象区間) について 渋滞損失時間 (現況) : 16094万人・時間/年 渋滞損失削減時間 : 52万人・時間/年 (40017万人・時間/年 39965万人・時間/年) 区間b (当該区間/並行区間) について : 国道24号 洲本西淡線 洲本五色線 鳥飼浦洲本線 広田洲本線 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失時間 : 57万人・時間/年 並行区間等 (当該区間) の渋滞損失削減率 : 5割削減
		現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	H27全国道路・街路交通情勢調査の昼間での旅行速度が16.2~17.7km/hで、速度改善が見込まれる (国道28号 青雲橋~塩屋)
		現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	縦貫線、淡路徳島線、鳥飼線、長田線 (全て淡路交通 4路線)
		新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化 の支援	重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
		農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる	農林水産業を主体とする地域名 : 洲本市、南あわじ市、主な出荷先等 : 京阪神圏
		現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	都市再生プロジェクトを支援する事業である		
		広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する		
		市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	洲本市字原大坪土地区画整理事業(5.9ha) 施行完了	
		中心市街地内で行う事業である		
		幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	幹線都市計画道路網密度の変化(供用前0.75km/km ² 供用後0.89km/km ²)	
		D10区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	都市計画道路網密度の変化(供用前0.75km/km ² 供用後0.89km/km ²)	
		対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる		
	国土・地域ネットワークの構築	高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけあり		
		地域高規格道路の位置づけあり		
		当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する		
		当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する		
		現道等における交通不能区間を解消する		
		現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する		
		日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる		
	個性ある地域の形成	鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する		
		拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する		
		主要な観光地へのアクセス向上が期待される	アクセス向上が期待される観光地名: 洲本温泉(H27年度観光入り込み客数: 451千人)	
		特別立法に基づく事業である		
		新規整備の公共公益施設へ直結する道路である		
		歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である		
	2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上に該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
			交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
		無電柱化による美しい町並みの形成	対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	
			市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)等の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保		三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次医療施設: 兵庫県立淡路病院(移転後に3次医療施設となる)、アクセス向上が見込まれる自治体: 洲本市、区間(洲本インター前交差点~海岸通交差点<三次医療施設最寄交差点>)、移動時間短縮:(供用前13分 供用後7分): 約6分短縮	

3. 安全	安全な生活環境の確保	現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	対象区間は、自動車交通量12,235台/12hであり、歩道未設置区間もある。
	災害への備え	近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	代替する緊急輸送道路路線名：国道28号（洲本バイパス並行区間現道）、旧国道28号（鳥飼浦洲本線、洲本松帆線、洲本五色線） 代替する区間（炬口～洲本インター前交差点）
		並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
		密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	
4. 環境	地球環境の保全	対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：1615.6t-CO2/年
	生活環境の改善・保全	現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：国道24号 洲本西淡線 洲本五色線 鳥飼浦洲本線 広田洲本線 排出削減量：6.5t/年、排出削減率：3割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：2.22t/年
		現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道/平行区間等）：国道24号 洲本西淡線 洲本五色線 鳥飼浦洲本線 広田洲本線 排出削減量：0.4t/年、排出削減率：4割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてS.P.M排出増加量：0.12t/年
		現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のアジェンダとの関係	道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	洲本市マスタープランで、主要幹線道路の整備として位置づけられている。
		関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

(再評価)

様式 - 2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B P・ その他の別
一般国道28号	洲本バイパス	L = 6.0km	二次改築	B P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,300	2車線	近畿地方整備局

費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成30年度		
単純合計	382億円	61億円	443億円
うち残事業分	96億円	20億円	117億円
基準年における 現在価値 (C)	663億円	22億円	685億円
うち残事業分	87億円	7.5億円	94億円

便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成30年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	40億円	3.1億円	0.23億円	43億円
基準年における 現在価値 (B)	660億円	51億円	3.8億円	715億円
うち残事業分	259億円	13億円	0.78億円	273億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

結 果

費用便益比（事業全体）	1.04
経済的純現在価値（事業全体）	30億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.1%
費用便益比（残事業）	2.9
経済的純現在価値（残事業）	178億円
経済的内部収益率（残事業）	13.5%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

感 度 分 析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	11,300台/日	± 1 0 %	0.9 ~ 1.2
事業費	96億円	± 1 0 %	1.0 ~ 1.1
事業期間	4年	± 2 0 %	1.0 ~ 1.1

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B / C）
交通量	11,300台/日	± 1 0 %	2.4 ~ 3.5
事業費	96億円	± 1 0 %	2.6 ~ 3.2
事業期間	4年	± 2 0 %	2.8 ~ 3.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：洲本バイパス（事業全体）

（推計時点 H42年）

				整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	洲本バイパス (6.0km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,300	
		走行時間 ^{※2}	[分]	0	8	
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	16.32	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道28号 (2.4km)	交通量	[台/日]	13,700	6,000	
		走行時間	[分]	7	6	
		走行時間費用	[億円/年]	18.88	6.20	
	洲本西淡線 (2.4km)	交通量	[台/日]	15,400	9,200	
		走行時間	[分]	9	7	
		走行時間費用	[億円/年]	24.89	10.40	
	洲本五色線 (0.5km)	交通量	[台/日]	14,300	11,500	
		走行時間	[分]	2	2	
		走行時間費用	[億円/年]	4.41	2.93	
	鳥飼浦洲本線 (0.3km)	交通量	[台/日]	9,500	6,400	
		走行時間	[分]	1	1	
		走行時間費用	[億円/年]	1.87	1.00	
	広田洲本線 (6.8km)	交通量	[台/日]	10,600	6,400	
		走行時間	[分]	20	17	
		走行時間費用	[億円/年]	36.50	18.34	
③その他道路合計 (7,254.1km)	走行時間費用	[億円/年]	24,738.28	24,730.57		
				走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,272.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,824.81	24,785.76	39.05	

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

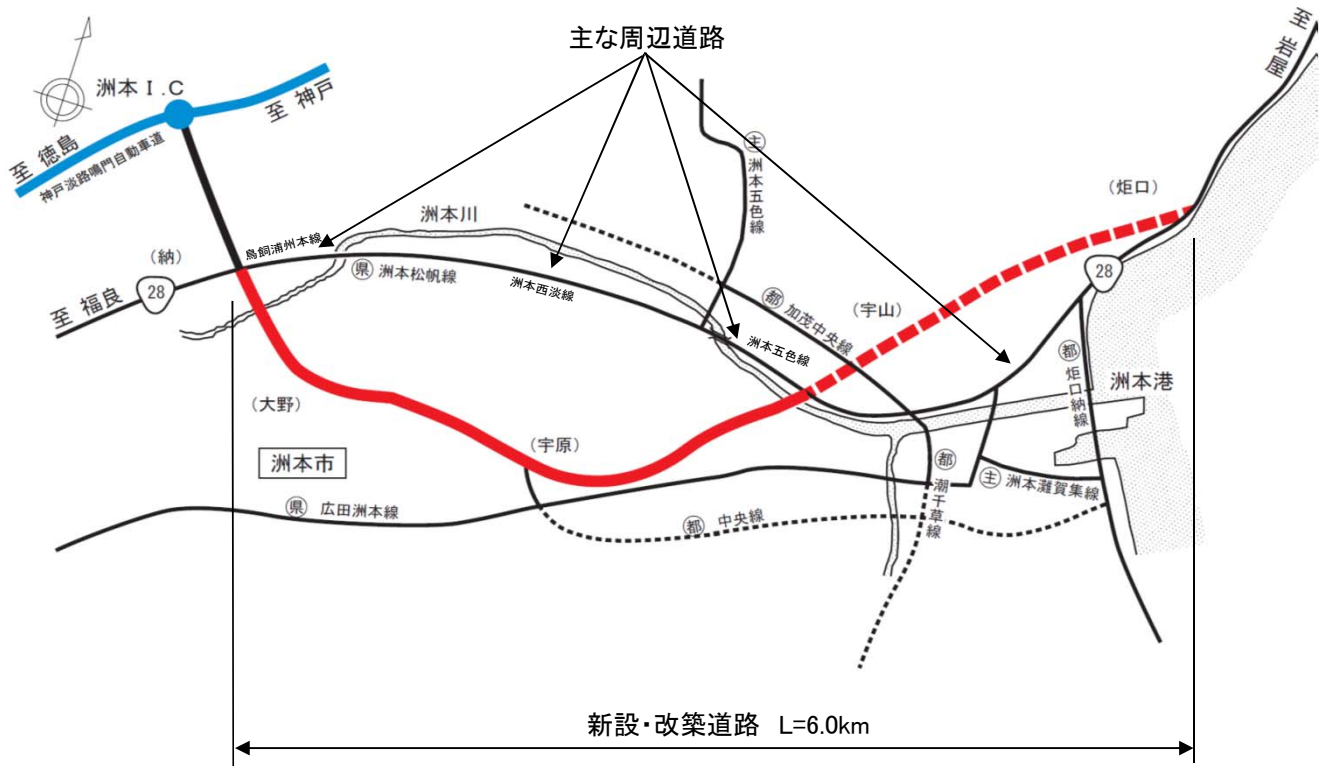
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

様式-3①

事業名：洲本バイパス（残事業）

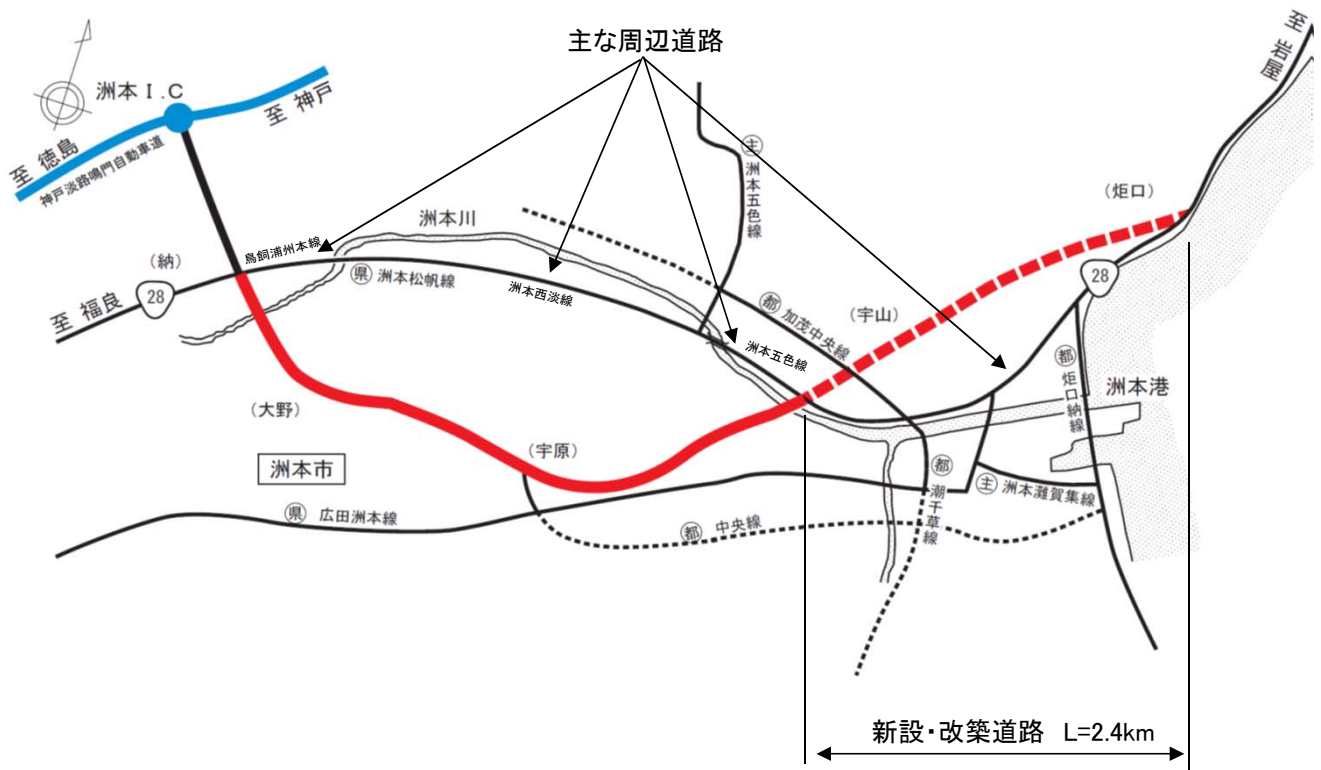
（推計時点 H42年）

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路	洲本バイパス (2.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	10,800
		走行時間 ^{※2}	[分]	0	3
		走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	6.38
②主な周辺道路 ^{※4}	国道28号 (2.4km)	交通量	[台/日]	17,200	6,000
		走行時間	[分]	8	6
		走行時間費用	[億円/年]	26.98	6.20
	洲本西淡線 (2.4km)	交通量	[台/日]	9,200	9,200
		走行時間	[分]	7	7
		走行時間費用	[億円/年]	10.40	10.40
	洲本五色線 (0.5km)	交通量	[台/日]	11,500	11,500
		走行時間	[分]	2	2
		走行時間費用	[億円/年]	2.93	2.93
	鳥飼浦洲本線 (0.3km)	交通量	[台/日]	6,400	6,400
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	1.00	1.00
	広田洲本線 (6.8km)	交通量	[台/日]	6,400	6,400
		走行時間	[分]	17	17
		走行時間費用	[億円/年]	18.34	18.34
③その他道路合計 (7,257.7km)	走行時間費用	[億円/年]	24,741.41	24,740.51	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：7,272.5km	走行時間短縮便益	[億円/年]	24,801.07	24,785.76	15.31

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：洲本バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成30年	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H22全国道路・街路 交通情勢調査)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
		その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)			
その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)		<input checked="" type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。		
	その他()	<input type="checkbox"/>	

交通流推計

(3)

項目		チェック欄		
便益の算定	休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載		() %	
	災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
		考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年間の災害実績より算出した年間平均値	(8.5) 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載		
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>		
その他				

費用の現在価値算定表(事業全体)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 一般国道28号 洲本バイパス

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
				0.22		6.0	1.32
-38年目	S 60	3.6484	105.7	0.20	0.71		
-37年目	S 61	3.5081	107.6	0.50	1.68		
-36年目	S 62	3.3731	107.3	0.62	2.00		
-35年目	S 63	3.2434	107.9	0.47	1.45		
-34年目	H 1	3.1187	110.8	2.87	8.30		
-33年目	H 2	2.9987	113.3	7.31	19.89		
-32年目	H 3	2.8834	116.0	15.96	40.78		
-31年目	H 4	2.7725	117.6	26.50	64.24		
-30年目	H 5	2.6658	117.9	23.20	53.91		
-29年目	H 6	2.5633	117.8	17.10	38.25		
-28年目	H 7	2.4647	117.1	18.01	38.98		
-27年目	H 8	2.3699	116.6	10.44	21.81		
-26年目	H 9	2.2788	117.5	16.00	31.90		
-25年目	H 10	2.1911	116.9	60.52	116.60		
-24年目	H 11	2.1068	115.2	44.30	83.29		
-23年目	H 12	2.0258	113.8	6.61	12.09		
-22年目	H 13	1.9479	112.4	3.98	7.09		
-21年目	H 14	1.8730	110.5	1.83	3.19		
-20年目	H 15	1.8009	109.0	1.05	1.78		
-19年目	H 16	1.7317	107.9	0.25	0.41		
-18年目	H 17	1.6651	106.7	0.29	0.46		
-17年目	H 18	1.6010	105.9	0.43	0.67		
-16年目	H 19	1.5395	105.0	1.43	2.15		
-15年目	H 20	1.4802	104.4	3.24	4.72		
-14年目	H 21	1.4233	103.0	2.55	3.62		
-13年目	H 22	1.3686	101.3	1.98	2.76		
-12年目	H 23	1.3159	99.8	0.57	0.77		
-11年目	H 24	1.2653	99.0	1.40	1.84		
-10年目	H 25	1.2167	99.0	1.17	1.48		
-9年目	H 26	1.1699	101.5	0.77	0.91		
-8年目	H 27	1.1249	103.0	0.27	0.30		
-7年目	H 28	1.0816	102.8	4.06	4.39		
-6年目	H 29	1.0400	102.8	1.52	1.58		
-5年目	H 30	1.0000	102.8	8.46	8.46		
-4年目	H 31	0.9615	102.8	14.81	14.24		
-3年目	H 32	0.9246	102.8	27.72	25.63		
-2年目	H 33	0.8890	102.8	35.65	31.69		
-1年目	H 34	0.8548	102.8	18.03	15.41		
供用開始年次	H 35	0.8219	102.8			1.22	1.00
1年目	H 36	0.7903	102.8			1.22	0.97
2年目	H 37	0.7599	102.8			1.22	0.93
3年目	H 38	0.7307	102.8			1.22	0.89
4年目	H 39	0.7026	102.8			1.22	0.86
5年目	H 40	0.6756	102.8			1.22	0.83
6年目	H 41	0.6496	102.8			1.22	0.79
7年目	H 42	0.6246	102.8			1.22	0.76
8年目	H 43	0.6006	102.8			1.22	0.73
9年目	H 44	0.5775	102.8			1.22	0.71
10年目	H 45	0.5553	102.8			1.22	0.68
11年目	H 46	0.5339	102.8			1.22	0.65
12年目	H 47	0.5134	102.8			1.22	0.63
13年目	H 48	0.4936	102.8			1.22	0.60
14年目	H 49	0.4746	102.8			1.22	0.58
15年目	H 50	0.4564	102.8			1.22	0.56
16年目	H 51	0.4388	102.8			1.22	0.54
17年目	H 52	0.4220	102.8			1.22	0.52
18年目	H 53	0.4057	102.8			1.22	0.50

19年目	H	54	0.3901	102.8			1.22	0.48
20年目	H	55	0.3751	102.8			1.22	0.46
21年目	H	56	0.3607	102.8			1.22	0.44
22年目	H	57	0.3468	102.8			1.22	0.42
23年目	H	58	0.3335	102.8			1.22	0.41
24年目	H	59	0.3207	102.8			1.22	0.39
25年目	H	60	0.3083	102.8			1.22	0.38
26年目	H	61	0.2965	102.8			1.22	0.36
27年目	H	62	0.2851	102.8			1.22	0.35
28年目	H	63	0.2741	102.8			1.22	0.34
29年目	H	64	0.2636	102.8			1.22	0.32
30年目	H	65	0.2534	102.8			1.22	0.31
31年目	H	66	0.2437	102.8			1.22	0.30
32年目	H	67	0.2343	102.8			1.22	0.29
33年目	H	68	0.2253	102.8			1.22	0.28
34年目	H	69	0.2166	102.8			1.22	0.26
35年目	H	70	0.2083	102.8			1.22	0.25
36年目	H	71	0.2003	102.8			1.22	0.24
37年目	H	72	0.1926	102.8			1.22	0.24
38年目	H	73	0.1852	102.8			1.22	0.23
39年目	H	74	0.1780	102.8			1.22	0.22
40年目	H	75	0.1712	102.8			1.22	0.21
41年目	H	76	0.1646	102.8			1.22	0.20
42年目	H	77	0.1583	102.8			1.22	0.19
43年目	H	78	0.1522	102.8			1.22	0.19
44年目	H	79	0.1463	102.8			1.22	0.18
45年目	H	80	0.1407	102.8			1.22	0.17
46年目	H	81	0.1353	102.8			1.22	0.17
47年目	H	82	0.1301	102.8			1.22	0.16
48年目	H	83	0.1251	102.8			1.22	0.15
49年目	H	84	0.1203	102.8	-55.73	-6.70	1.22	0.15
合計					326.32	662.73	61.11	22.47
単純事業費計						382.06		61.11

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:一般国道28号 洲本バイパス

単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.18	2.4	0.44

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-4年目	H 31	0.9615	102.8	14.81	14.24		
-3年目	H 32	0.9246	102.8	27.72	25.63		
-2年目	H 33	0.8890	102.8	35.65	31.69		
-1年目	H 34	0.8548	102.8	18.03	15.41		
供用開始年次	H 35	0.8219	102.8			0.41	0.33
1年目	H 36	0.7903	102.8			0.41	0.32
2年目	H 37	0.7599	102.8			0.41	0.31
3年目	H 38	0.7307	102.8			0.41	0.30
4年目	H 39	0.7026	102.8			0.41	0.29
5年目	H 40	0.6756	102.8			0.41	0.28
6年目	H 41	0.6496	102.8			0.41	0.26
7年目	H 42	0.6246	102.8			0.41	0.25
8年目	H 43	0.6006	102.8			0.41	0.24
9年目	H 44	0.5775	102.8			0.41	0.24
10年目	H 45	0.5553	102.8			0.41	0.23
11年目	H 46	0.5339	102.8			0.41	0.22
12年目	H 47	0.5134	102.8			0.41	0.21
13年目	H 48	0.4936	102.8			0.41	0.20
14年目	H 49	0.4746	102.8			0.41	0.19
15年目	H 50	0.4564	102.8			0.41	0.19
16年目	H 51	0.4388	102.8			0.41	0.18
17年目	H 52	0.4220	102.8			0.41	0.17
18年目	H 53	0.4057	102.8			0.41	0.17
19年目	H 54	0.3901	102.8			0.41	0.16
20年目	H 55	0.3751	102.8			0.41	0.15
21年目	H 56	0.3607	102.8			0.41	0.15
22年目	H 57	0.3468	102.8			0.41	0.14
23年目	H 58	0.3335	102.8			0.41	0.14
24年目	H 59	0.3207	102.8			0.41	0.13
25年目	H 60	0.3083	102.8			0.41	0.13
26年目	H 61	0.2965	102.8			0.41	0.12
27年目	H 62	0.2851	102.8			0.41	0.12
28年目	H 63	0.2741	102.8			0.41	0.11
29年目	H 64	0.2636	102.8			0.41	0.11
30年目	H 65	0.2534	102.8			0.41	0.10
31年目	H 66	0.2437	102.8			0.41	0.10
32年目	H 67	0.2343	102.8			0.41	0.10
33年目	H 68	0.2253	102.8			0.41	0.09
34年目	H 69	0.2166	102.8			0.41	0.09
35年目	H 70	0.2083	102.8			0.41	0.08
36年目	H 71	0.2003	102.8			0.41	0.08
37年目	H 72	0.1926	102.8			0.41	0.08
38年目	H 73	0.1852	102.8			0.41	0.08
39年目	H 74	0.1780	102.8			0.41	0.07
40年目	H 75	0.1712	102.8			0.41	0.07
41年目	H 76	0.1646	102.8			0.41	0.07
42年目	H 77	0.1583	102.8			0.41	0.06
43年目	H 78	0.1522	102.8			0.41	0.06
44年目	H 79	0.1463	102.8			0.41	0.06
45年目	H 80	0.1407	102.8			0.41	0.06
46年目	H 81	0.1353	102.8			0.41	0.06
47年目	H 82	0.1301	102.8			0.41	0.05
48年目	H 83	0.1251	102.8			0.41	0.05
49年目	H 84	0.1203	102.8	0.00	0.00	0.41	0.05
合計				96.21	86.97	20.37	7.50
単純事業費計				96.21		20.37	

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表（事業全体）

箇所名： 一般国道28号 洲本バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 35	0.99869	0.98488	1.00535	0.99728	0.8219	102.8	28.49	7.54	3.93	39.96	32.85	2.35	0.37	0.36	3.08	2.53	0.23	0.19	43.27	35.56
1年目	H 36	0.99868	0.98464	1.00532	0.99727	0.7903	102.8	28.46	7.43	3.95	39.83	31.48	2.35	0.36	0.36	3.07	2.43	0.23	0.18	43.13	34.09
2年目	H 37	0.99868	0.98440	1.00529	0.99726	0.7599	102.8	28.42	7.31	3.97	39.70	30.17	2.34	0.36	0.36	3.07	2.33	0.23	0.17	42.99	32.67
3年目	H 38	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.7307	102.8	28.38	7.20	3.99	39.57	28.92	2.34	0.35	0.36	3.06	2.23	0.22	0.16	42.86	31.31
4年目	H 39	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7026	102.8	28.34	7.09	4.01	39.44	27.71	2.34	0.35	0.37	3.05	2.14	0.22	0.16	42.72	30.01
5年目	H 40	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.6756	102.8	28.31	6.97	4.03	39.31	26.56	2.34	0.34	0.37	3.04	2.06	0.22	0.15	42.58	28.77
6年目	H 41	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.6496	102.8	28.27	6.86	4.05	39.18	25.45	2.33	0.34	0.37	3.04	1.97	0.22	0.14	42.44	27.57
7年目	H 42	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6246	102.8	28.23	6.74	4.07	39.05	24.39	2.33	0.33	0.37	3.03	1.89	0.22	0.14	42.30	26.42
8年目	H 43	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6006	102.8	28.01	6.68	4.07	38.75	23.27	2.31	0.33	0.37	3.01	1.81	0.22	0.13	41.98	25.21
9年目	H 44	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.5775	102.8	27.78	6.61	4.06	38.45	22.21	2.29	0.32	0.37	2.99	1.72	0.22	0.13	41.66	24.06
10年目	H 45	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.5553	102.8	27.55	6.55	4.05	38.16	21.19	2.27	0.32	0.37	2.96	1.65	0.22	0.12	41.34	22.96
11年目	H 46	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5339	102.8	27.33	6.49	4.05	37.86	20.21	2.25	0.32	0.37	2.94	1.57	0.22	0.12	41.02	21.90
12年目	H 47	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5134	102.8	27.10	6.42	4.04	37.56	19.28	2.24	0.32	0.37	2.92	1.50	0.21	0.11	40.70	20.89
13年目	H 48	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.4936	102.8	26.87	6.36	4.03	37.26	18.39	2.22	0.31	0.37	2.90	1.43	0.21	0.10	40.37	19.93
14年目	H 49	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.4746	102.8	26.65	6.29	4.03	36.97	17.54	2.20	0.31	0.37	2.87	1.36	0.21	0.10	40.05	19.01
15年目	H 50	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4564	102.8	26.42	6.23	4.02	36.67	16.74	2.18	0.31	0.37	2.85	1.30	0.21	0.10	39.73	18.13
16年目	H 51	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4388	102.8	26.19	6.16	4.02	36.37	15.96	2.16	0.30	0.37	2.83	1.24	0.21	0.09	39.41	17.29
17年目	H 52	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4220	102.8	25.97	6.10	4.01	36.07	15.22	2.14	0.30	0.37	2.81	1.18	0.21	0.09	39.09	16.49
18年目	H 53	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4057	102.8	25.74	6.03	4.00	35.78	14.51	2.12	0.30	0.36	2.78	1.13	0.20	0.08	38.76	15.73
19年目	H 54	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.3901	102.8	25.51	5.97	4.00	35.48	13.84	2.10	0.29	0.36	2.76	1.08	0.20	0.08	38.44	15.00
20年目	H 55	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.3751	102.8	25.29	5.90	3.99	35.18	13.20	2.09	0.29	0.36	2.74	1.03	0.20	0.08	38.12	14.30
21年目	H 56	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3607	102.8	25.06	5.84	3.98	34.88	12.58	2.07	0.29	0.36	2.72	0.98	0.20	0.07	37.80	13.63
22年目	H 57	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3468	102.8	24.83	5.78	3.98	34.59	11.99	2.05	0.28	0.36	2.69	0.93	0.20	0.07	37.48	13.00
23年目	H 58	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3335	102.8	24.61	5.71	3.97	34.29	11.43	2.03	0.28	0.36	2.67	0.89	0.20	0.07	37.16	12.39
24年目	H 59	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3207	102.8	24.38	5.65	3.96	33.99	10.90	2.01	0.28	0.36	2.65	0.85	0.20	0.06	36.83	11.81
25年目	H 60	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3083	102.8	24.16	5.58	3.96	33.69	10.39	1.99	0.27	0.36	2.63	0.81	0.19	0.06	36.51	11.26
26年目	H 61	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.2965	102.8	23.93	5.52	3.95	33.39	9.90	1.97	0.27	0.36	2.60	0.77	0.19	0.06	36.19	10.73
27年目	H 62	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.2851	102.8	23.70	5.45	3.94	33.10	9.44	1.96	0.27	0.36	2.58	0.74	0.19	0.05	35.87	10.23
28年目	H 63	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2741	102.8	23.48	5.39	3.94	32.80	8.99	1.94	0.26	0.36	2.56	0.70	0.19	0.05	35.55	9.74
29年目	H 64	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2636	102.8	23.25	5.32	3.93	32.50	8.57	1.92	0.26	0.36	2.54	0.67	0.19	0.05	35.23	9.29
30年目	H 65	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2534	102.8	23.02	5.26	3.92	32.20	8.16	1.90	0.26	0.36	2.51	0.64	0.19	0.05	34.90	8.84
31年目	H 66	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2437	102.8	22.80	5.19	3.92	31.91	7.78	1.88	0.26	0.36	2.49	0.61	0.18	0.04	34.58	8.43
32年目	H 67	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2343	102.8	22.57	5.13	3.91	31.61	7.41	1.86	0.25	0.36	2.47	0.58	0.18	0.04	34.26	8.03
33年目	H 68	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2253	102.8	22.34	5.06	3.90	31.31	7.05	1.84	0.25	0.36	2.45	0.55	0.18	0.04	33.94	7.65
34年目	H 69	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2166	102.8	22.12	5.00	3.90	31.01	6.72	1.82	0.25	0.36	2.43	0.53	0.18	0.04	33.62	7.28
35年目	H 70	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2083	102.8	21.89	4.94	3.89	30.72	6.40	1.81	0.24	0.35	2.40	0.50	0.18	0.04	33.30	6.94
36年目	H 71	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2003	102.8	21.66	4.87	3.88	30.42	6.09	1.79	0.24	0.35	2.38	0.48	0.18	0.04	32.97	6.60
37年目	H 72	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.1926	102.8	21.44	4.81	3.88	30.12	5.80	1.77	0.24	0.35	2.36	0.45	0.17	0.03	32.65	6.29
38年目	H 73	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.1852	102.8	21.21	4.74	3.87	29.82	5.52	1.75	0.23	0.35	2.34	0.43	0.17	0.03	32.33	5.99
39年目	H 74	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1780	102.8	20.98	4.68	3.86	29.53	5.26	1.73	0.23	0.35	2.31	0.41	0.17	0.03	32.01	5.70
40年目	H 75	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1712	102.8	20.76	4.61	3.86	29.23	5.00	1.71	0.23	0.35	2.29	0.39	0.17	0.03	31.69	5.42
41年目	H 76	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1646	102.8	20.53	4.55	3.85	28.93	4.76	1.69	0.22	0.35	2.27	0.37	0.17	0.03	31.37	5.16
42年目	H 77	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1583	102.8	20.30	4.48	3.84	28.63	4.53	1.67	0.22	0.35	2.25	0.36	0.17	0.03	31.04	4.91
43年目	H 78	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1522	102.8	20.08	4.42	3.84	28.33	4.31	1.66	0.22	0.35	2.22	0.34	0.16	0.03	30.72	4.68
44年目	H 79	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1463	102.8	19.85	4.35	3.83	28.04	4.10	1.64	0.21	0.35	2.20	0.32	0.16	0.02	30.40	4.45
45年目	H 80	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1407	102.8	19.63	4.29	3.82	27.74	3.90	1.62	0.21	0.35	2.18	0.31	0.16	0.02	30.08	4.23
46年目	H 81	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1353	102.8	19.40	4.23	3.82	27.44	3.71	1.60	0.21	0.35	2.16	0.29	0.16	0.02	29.76	4.03
47年目	H 82	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1301	102.8	19.17	4.16	3.81	27.14	3.53	1.58	0.20	0.35	2.13	0.28	0.16	0.02	29.44	3.83
48年目	H 83	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1251	102.8	18.95	4.10	3.80	26.85	3.36	1.56	0.20	0.35	2.11	0.26	0.16	0.02	29.11	3.64
49年目	H 84	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1203	102.8	18.72	4.03	3.80	26.55	3.19	1.54	0.20	0.35	2.09	0.25	0.16	0.02	28.79	3.46
合計								1,208.13	282.07	197.19	1,687.39	659.89	99.66	13.85	17.97	131.48	51.28	9.69	3.77	1,828.56	714.95

便益の現在価値算定表（残事業）

箇所名： 一般国道28号 洲本バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台キロの年次別伸び率 (近畿臨海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間便益 (億円)					走行経費便益 (億円)					事故減少便益 (億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 ②×(A)	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 35	0.99869	0.98488	1.00535	0.99728	0.8219	102.8	10.88	3.23	1.58	15.69	12.90	0.57	0.11	0.12	0.80	0.65	0.05	0.04	16.54	13.59
1年目	H 36	0.99868	0.98464	1.00532	0.99727	0.7903	102.8	10.86	3.19	1.59	15.64	12.36	0.57	0.10	0.12	0.79	0.63	0.05	0.04	16.48	13.02
2年目	H 37	0.99868	0.98440	1.00529	0.99726	0.7599	102.8	10.85	3.14	1.60	15.58	11.84	0.57	0.10	0.12	0.79	0.60	0.05	0.04	16.42	12.48
3年目	H 38	0.99868	0.98416	1.00526	0.99725	0.7307	102.8	10.83	3.09	1.61	15.53	11.35	0.57	0.10	0.12	0.79	0.58	0.05	0.03	16.37	11.96
4年目	H 39	0.99868	0.98390	1.00523	0.99725	0.7026	102.8	10.82	3.04	1.62	15.47	10.87	0.57	0.10	0.12	0.79	0.55	0.05	0.03	16.31	11.46
5年目	H 40	0.99868	0.98364	1.00521	0.99724	0.6756	102.8	10.81	2.99	1.62	15.42	10.42	0.57	0.10	0.12	0.79	0.53	0.05	0.03	16.25	10.98
6年目	H 41	0.99868	0.98337	1.00518	0.99723	0.6496	102.8	10.79	2.94	1.63	15.36	9.98	0.57	0.10	0.12	0.78	0.51	0.05	0.03	16.20	10.52
7年目	H 42	0.99198	0.99042	0.99839	0.99287	0.6246	102.8	10.78	2.89	1.64	15.31	9.56	0.56	0.09	0.12	0.78	0.49	0.05	0.03	16.14	10.08
8年目	H 43	0.99191	0.99033	0.99838	0.99281	0.6006	102.8	10.69	2.86	1.64	15.19	9.13	0.56	0.09	0.12	0.78	0.47	0.05	0.03	16.02	9.62
9年目	H 44	0.99185	0.99024	0.99838	0.99276	0.5775	102.8	10.60	2.84	1.64	15.08	8.71	0.56	0.09	0.12	0.77	0.45	0.05	0.03	15.89	9.18
10年目	H 45	0.99178	0.99014	0.99838	0.99271	0.5553	102.8	10.52	2.81	1.63	14.96	8.31	0.55	0.09	0.12	0.77	0.43	0.05	0.03	15.77	8.76
11年目	H 46	0.99171	0.99004	0.99837	0.99266	0.5339	102.8	10.43	2.78	1.63	14.84	7.92	0.55	0.09	0.12	0.76	0.41	0.04	0.02	15.65	8.35
12年目	H 47	0.99164	0.98994	0.99837	0.99260	0.5134	102.8	10.35	2.75	1.63	14.73	7.56	0.54	0.09	0.12	0.76	0.39	0.04	0.02	15.53	7.97
13年目	H 48	0.99157	0.98984	0.99837	0.99255	0.4936	102.8	10.26	2.73	1.62	14.61	7.21	0.54	0.09	0.12	0.75	0.37	0.04	0.02	15.40	7.60
14年目	H 49	0.99150	0.98974	0.99837	0.99249	0.4746	102.8	10.17	2.70	1.62	14.49	6.88	0.53	0.09	0.12	0.74	0.35	0.04	0.02	15.28	7.25
15年目	H 50	0.99143	0.98963	0.99836	0.99243	0.4564	102.8	10.09	2.67	1.62	14.38	6.56	0.53	0.09	0.12	0.74	0.34	0.04	0.02	15.16	6.92
16年目	H 51	0.99135	0.98952	0.99836	0.99238	0.4388	102.8	10.00	2.64	1.62	14.26	6.26	0.52	0.09	0.12	0.73	0.32	0.04	0.02	15.03	6.60
17年目	H 52	0.99128	0.98941	0.99836	0.99232	0.4220	102.8	9.91	2.62	1.61	14.14	5.97	0.52	0.09	0.12	0.73	0.31	0.04	0.02	14.91	6.29
18年目	H 53	0.99120	0.98930	0.99836	0.99226	0.4057	102.8	9.83	2.59	1.61	14.03	5.69	0.52	0.08	0.12	0.72	0.29	0.04	0.02	14.79	6.00
19年目	H 54	0.99112	0.98918	0.99835	0.99220	0.3901	102.8	9.74	2.56	1.61	13.91	5.43	0.51	0.08	0.12	0.72	0.28	0.04	0.02	14.67	5.72
20年目	H 55	0.99104	0.98906	0.99835	0.99214	0.3751	102.8	9.65	2.53	1.61	13.79	5.17	0.51	0.08	0.12	0.71	0.27	0.04	0.02	14.54	5.46
21年目	H 56	0.99096	0.98894	0.99835	0.99207	0.3607	102.8	9.57	2.50	1.60	13.67	4.93	0.50	0.08	0.12	0.70	0.25	0.04	0.01	14.42	5.20
22年目	H 57	0.99088	0.98882	0.99835	0.99201	0.3468	102.8	9.48	2.48	1.60	13.56	4.70	0.50	0.08	0.12	0.70	0.24	0.04	0.01	14.30	4.96
23年目	H 58	0.99080	0.98869	0.99834	0.99195	0.3335	102.8	9.39	2.45	1.60	13.44	4.48	0.49	0.08	0.12	0.69	0.23	0.04	0.01	14.18	4.73
24年目	H 59	0.99071	0.98856	0.99834	0.99188	0.3207	102.8	9.31	2.42	1.60	13.32	4.27	0.49	0.08	0.12	0.69	0.22	0.04	0.01	14.05	4.51
25年目	H 60	0.99062	0.98843	0.99834	0.99182	0.3083	102.8	9.22	2.39	1.59	13.21	4.07	0.48	0.08	0.12	0.68	0.21	0.04	0.01	13.93	4.29
26年目	H 61	0.99053	0.98830	0.99833	0.99175	0.2965	102.8	9.13	2.37	1.59	13.09	3.88	0.48	0.08	0.12	0.68	0.20	0.04	0.01	13.81	4.09
27年目	H 62	0.99044	0.98816	0.99833	0.99168	0.2851	102.8	9.05	2.34	1.59	12.97	3.70	0.47	0.08	0.12	0.67	0.19	0.04	0.01	13.68	3.90
28年目	H 63	0.99035	0.98802	0.99833	0.99161	0.2741	102.8	8.96	2.31	1.59	12.86	3.52	0.47	0.08	0.12	0.66	0.18	0.04	0.01	13.56	3.72
29年目	H 64	0.99026	0.98787	0.99833	0.99154	0.2636	102.8	8.88	2.28	1.58	12.74	3.36	0.47	0.07	0.12	0.66	0.17	0.04	0.01	13.44	3.54
30年目	H 65	0.99016	0.98772	0.99832	0.99147	0.2534	102.8	8.79	2.26	1.58	12.62	3.20	0.46	0.07	0.12	0.65	0.17	0.04	0.01	13.32	3.37
31年目	H 66	0.99006	0.98757	0.99832	0.99139	0.2437	102.8	8.70	2.23	1.58	12.51	3.05	0.46	0.07	0.12	0.65	0.16	0.04	0.01	13.19	3.22
32年目	H 67	0.98996	0.98741	0.99832	0.99132	0.2343	102.8	8.62	2.20	1.57	12.39	2.90	0.45	0.07	0.12	0.64	0.15	0.04	0.01	13.07	3.06
33年目	H 68	0.98986	0.98725	0.99831	0.99124	0.2253	102.8	8.53	2.17	1.57	12.27	2.77	0.45	0.07	0.12	0.64	0.14	0.04	0.01	12.95	2.92
34年目	H 69	0.98976	0.98709	0.99831	0.99116	0.2166	102.8	8.44	2.14	1.57	12.16	2.63	0.44	0.07	0.12	0.63	0.14	0.04	0.01	12.82	2.78
35年目	H 70	0.98965	0.98692	0.99831	0.99109	0.2083	102.8	8.36	2.12	1.57	12.04	2.51	0.44	0.07	0.12	0.63	0.13	0.04	0.01	12.70	2.65
36年目	H 71	0.98954	0.98674	0.99831	0.99101	0.2003	102.8	8.27	2.09	1.56	11.92	2.39	0.43	0.07	0.12	0.62	0.12	0.04	0.01	12.58	2.52
37年目	H 72	0.98943	0.98657	0.99830	0.99092	0.1926	102.8	8.18	2.06	1.56	11.81	2.27	0.43	0.07	0.12	0.61	0.12	0.04	0.01	12.46	2.40
38年目	H 73	0.98932	0.98638	0.99830	0.99084	0.1852	102.8	8.10	2.03	1.56	11.69	2.16	0.42	0.07	0.12	0.61	0.11	0.04	0.01	12.33	2.28
39年目	H 74	0.98921	0.98620	0.99830	0.99076	0.1780	102.8	8.01	2.01	1.56	11.57	2.06	0.42	0.07	0.12	0.60	0.11	0.04	0.01	12.21	2.17
40年目	H 75	0.98909	0.98600	0.99829	0.99067	0.1712	102.8	7.92	1.98	1.55	11.46	1.96	0.42	0.06	0.12	0.60	0.10	0.04	0.01	12.09	2.07
41年目	H 76	0.98897	0.98580	0.99829	0.99058	0.1646	102.8	7.84	1.95	1.55	11.34	1.87	0.41	0.06	0.12	0.59	0.10	0.03	0.01	11.97	1.97
42年目	H 77	0.98885	0.98560	0.99829	0.99049	0.1583	102.8	7.75	1.92	1.55	11.22	1.78	0.41	0.06	0.12	0.59	0.09	0.03	0.01	11.84	1.87
43年目	H 78	0.98872	0.98539	0.99829	0.99040	0.1522	102.8	7.66	1.90	1.55	11.11	1.69	0.40	0.06	0.12	0.58	0.09	0.03	0.01	11.72	1.78
44年目	H 79	0.98859	0.98517	0.99828	0.99031	0.1463	102.8	7.58	1.87	1.54	10.99	1.61	0.40	0.06	0.12	0.57	0.08	0.03	0.00	11.60	1.70
45年目	H 80	0.98846	0.98495	0.99828	0.99021	0.1407	102.8	7.49	1.84	1.54	10.87	1.53	0.39	0.06	0.12	0.57	0.08	0.03	0.00	11.47	1.61
46年目	H 81	0.98832	0.98472	0.99828	0.99012	0.1353	102.8	7.41	1.81	1.54	10.75	1.46	0.39	0.06	0.12	0.56	0.08	0.03	0.00	11.35	1.54
47年目	H 82	0.98819	0.98448	0.99827	0.99002	0.1301	102.8	7.32	1.78	1.53	10.64	1.38	0.38	0.06	0.12	0.56	0.07	0.03	0.00	11.23	1.46
48年目	H 83	0.98805	0.98424	0.99827	0.98992	0.1251	102.8	7.23	1.76	1.53	10.52	1.32	0.38	0.06	0.12	0.55	0.07	0.03	0.00	11.11	1.39
49年目	H 84	0.98790	0.98398	0.99827	0.98981	0.1203	102.8	7.15	1.73	1.53	10.40	1.25	0.37	0.06	0.12	0.55	0.07	0.03	0.00	10.98	1.32
合計								461.20	120.96	79.40	661.56	258.77	24.18	3.94	6.01	34.12	13.28	2.01	0.78	697.70	272.84

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道28号	洲本バイパス	2	6.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				27,218	
	改良費				14,187	
		土工	m3	2,735,500	3,855	
		深礎工	本	18	521	
		法面工	式	1	4,649	
		擁壁工	式	1	934	
		施設工	式	1	87	
		函渠工	式	1	571	
		排水工	式	1	833	
		情報管路工	Km	6	300	
		雑工	式	1	2,437	
	橋梁費				1,632	
		橋梁	m	245	1,632	
	トンネル費				7,468	
		NATM	m	1,229	7,468	
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				517	
		車道舗装	m ²	50,540	451	
		歩道舗装	m ²	19,910	66	
	付帯施設費				3,414	
		付帯工事費	式	1	3,414	付替道路、付替水路、地滑り対策工事ほか
②	用地及補償費				7,776	
	用地費		m ²	209,000	5,573	
		宅地	m ²	17,000	1,560	
		田畑	m ²	89,000	3,478	
		山林・原野	m ²	85,000	319	
		その他	m ²	18,000	216	
	補償費		式	1	2,203	
③	間接経費		式	1	5,006	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				40,000	

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道28号	洲本バイパス	2	6.0km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	6.0	1,650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,950	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,600	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

(残事業)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道28号	洲本バイパス	2	2.4km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費					9,150		
	改良費				3,945		
		土工	m3	541,310	118		
		深礎工	本				
		法面工	式	1	1,350		
		擁壁工	式	1	76		
		施設工	式				
		函渠工	式	1	17		
		排水工	式	1	115		
		情報管路工	Km	2	120		
		雑工	式	1	2,149		
		橋梁費				247	
		橋梁	m	37	247		
		トンネル費				4,750	
		NATM	m	945	4,750		
		IC・JCT費					
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
		舗装費				134	
	車道舗装	m ²	13,140	117			
	歩道舗装	m ²	5,138	17			
	付帯施設費				74		
	付帯工事費	式	1	74	付替道路、付替水路ほか		
②用地及補償費	用地費		m ²				
	宅地	m ²					
	田畑	m ²					
	山林・原野	m ²					
	その他	m ²					
	補償費	式	1		50		
③間接経費		式	1		1,191	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費	
全体事業費					10,391		

全事業 / 残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道28号	洲本バイパス	2	2.4km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	2.4	650	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	1,550	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			2,200	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。



国近整企画第113号

平成30年8月22日

兵庫県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について(依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成30年9月12日(水)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成30年9月5日(水)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・お問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(別紙)

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道28号洲本バイパス	事業継続	

※貴職の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業評価監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

土 第 1 3 9 1 号
平成 3 0 年 9 月 4 日

近畿地方整備局長 様

兵庫県知事



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

平成 3 0 年 8 月 2 2 日 付け 国近整企画 1 1 3 号 で 照 会 の あ り ま し た 標 記 の 件 に つ
き ま し て 、 別 紙 の と お り 回 答 し ま す 。

【道路事業】

<一般国道28号洲本バイパス>

兵庫県知事の意見

一般国道28号は、淡路島を南北に通過し、高速道路のICや淡路3市の中心市街地をつなぐ幹線道路であり、その中でも洲本バイパスは洲本市域の日常生活や経済活動を支える重要な役割を担っている。

本バイパス6.0kmのうち、洲本ICと洲本市街地を直結する西側3.6kmは供用済みであるが、東側2.4kmが未供用となっている。

このため、未供用区間と並行する現国道では約15,000台/日の交通が集中し、青雲橋北詰交差点や新潮橋北詰交差点で交通混雑が発生していること、死傷事故が多発していることから、本バイパスの整備により、通過交通を排除し、交通混雑の緩和や交通の安全性向上を図る必要がある。

また、現国道の塩屋交差点～炬口北交差点間は、南海トラフ地震時の津波により浸水する可能性があることから、本バイパスの整備により緊急輸送路や避難路としての機能を確保する必要がある。

これらに加え、地元洲本市からも強い要望があることから、コスト縮減や事業効果の早期発現に配慮しつつ、引き続き事業の推進に取り組み、早期に供用して頂きたい。